

## 解 答

I 問1 自転車は、地表面の傾きが急な地域では利用される割合が低く、傾きがゆるやかな地域では、利用される割合が高くなる。

問2 ⑤ ウ ⑥ イ ⑦ ア

II 問1 農耕

問2 清少納言

問3 応仁の乱

問4 かご

問5 工

問6 貝塚

問7 渡来人

問8 戦いが起こるとすぐにかけつけ、命がけで戦った。

問9 ア

問10 人力車

問11 江戸時代までは、身分が低いと乗り物の利用が制限されたり、禁じられたりしていたが、明治維新以降は、運賃を払えば、誰でも同じように利用できるようになった。

III 問1 (a) 左側 (b) 信号機 (c) 右側

問2 イ

問3 (1) 工 (2) 歩道橋

問4 駐輪場

問5 ア

IV 問1 イ

問2 殖産興業

問3 ア

問4 戦場となったヨーロッパから輸入できなくなったから。

V 問1 男性が徴兵され、働き手が足りなくなったため。

問2 自転車生産台数が急増した。また、仕事などに用いる実用車の割合が減る一方、さまざまな用途に応じた車種の割合が増えた。

問3 外国産の自転車のほうが国産の自転車よりも安かったから。

VI 明治時代から大正時代までは、輸入された自転車をおもに運搬用に用いていた。昭和時代以降は国産化が進み、戦後は自転車が日常生活やレジャーなどに幅広い用途で利用されるようになった。1990年ごろから国産の自転車に代わって安い輸入自転車が中心となり、国民約2人に1台まで普及するようになった。